

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 11 日 (2007.1.11)

【公開番号】特開 2005-159956 (P2005-159956A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-023
 【出願番号】特願 2003-398752 (P2003-398752)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 1/16 (2006.01)
H 0 4 H 1/00 (2006.01)
H 0 4 N 5/445 (2006.01)
H 0 4 N 7/08 (2006.01)
H 0 4 N 7/081 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B	1/16	G
H 0 4 H	1/00	B
H 0 4 N	5/445	Z
H 0 4 N	7/08	Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 17 日 (2006.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デジタル放送信号を受信することによりこの放送信号に基づく映像情報を表示するデジタル放送受信装置において、

複数の地域情報と地域コードとを対応付けて複数記憶する記憶手段と、

前記デジタル放送信号に多重化されて送信される複数の地域コードを受信する受信手段と、

この受信手段によって受信された複数の地域コードの夫々について、対応する地域情報が前記記憶手段に記憶されているか否かを判定する判定手段と、

この判定手段によって前記記憶手段に対応する地域情報が記憶されていると判定した場合、該記憶手段より地域情報としてその地域を示す名称を読み出す読出手段と、

この読出手段によって読み出された地域を示す名称を含む所定のメッセージを生成し、出力報知する報知手段と

を備えることを特徴とするデジタル放送受信装置。

【請求項 2】

前記記憶手段は、前記複数の地域情報のそれぞれについて報知の可否を示すフラグ情報を更に記憶し、

前記読出手段は、前記記憶手段に対応する地域情報が記憶されていると判定した場合、報知可のフラグがセットされている地域を示す名称を読み出すことを特徴とする請求項 1 に記載のデジタル放送受信装置。

【請求項 3】

前記報知手段は、映像情報を表示する表示領域にメッセージを表示する表示制御手段を含むことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の放送受信装置。

【請求項 4】

複数の地域情報を記憶する記憶手段を備え、デジタル放送信号を受信することによりこの放送信号に対応する映像情報を表示するデジタル放送受信装置における報知制御方法であって、

デジタル放送信号に多重化されて送信される複数の地域コードを受信する受信ステップと、

この受信ステップにて受信された複数の地域コードの夫々について、対応する地域情報が前記記憶手段に記憶されているか否かを判定する判定ステップと、

この判定ステップにて前記記憶手段に対応する地域情報が記憶されていると判定した場合、該記憶手段より地域情報としてその地域を示す名称を読み出す読出ステップと、

この読出ステップにて読み出された地域を示す名称を含む所定のメッセージを生成して出力報知する報知ステップと

からなることを特徴とする報知制御方法。

【請求項 5】

デジタル放送信号を受信する放送受信部と、複数の地域情報と地域コードとを対応付けて複数記憶するメモリとを備えたコンピュータを、

前記放送受信部により受信されたデジタル放送信号より、このデジタル放送信号に多重化されて送信される複数の地域コードを抽出する抽出手段、

この抽出手段によって抽出された複数の地域コードの夫々について、対応する地域情報が前記メモリに記憶されているか否かを判定する判定手段、

この判定手段によって前記メモリに対応する地域情報が記憶されていると判定した場合、前記メモリより地域情報としてその地域を示す名称を読み出す読出手段、

この読出手段によって読み出された地域を示す名称を含む所定のメッセージを生成し、出力報知する報知手段

として機能させることを特徴とする報知制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】放送受信装置、報知制御方法、および、報知制御プログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、デジタル放送を受信できる放送受信装置、報知制御方法、および、報知制御プログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで、本発明の目的は、異なる地域コードが付与された複数の地域特定放送サービスを選択的に受信する際に、その放送サービスの対象地域を視聴者に明示的に告知できるようにした放送受信装置、報知制御方法、および、報知制御プログラムを提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項1に記載の発明は、デジタル放送信号を受信することによりこの放送信号に基づく映像情報を表示するデジタル放送受信装置において、複数の地域情報と地域コードとを対応付けて複数記憶する記憶手段と、前記デジタル放送信号に多重化されて送信される複数の地域コードを受信する受信手段と、この受信手段によって受信された複数の地域コードの夫々について、対応する地域情報が前記記憶手段に記憶されているか否かを判定する判定手段と、この判定手段によって前記記憶手段に対応する地域情報が記憶されていると判定した場合、該記憶手段より地域情報としてその地域を示す名称を読み出す読出手段と、この読出手段によって読み出された地域を示す名称を含む所定のメッセージを生成し、出力報知する報知手段とを備えることを特徴とする。

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、前記記憶手段は、前記複数の地域情報のそれぞれについて報知の可否を示すフラグ情報を更に記憶し、前記読出手段は、前記記憶手段に対応する地域情報が記憶されていると判定した場合、報知可のフラグがセットされている地域を示す名称を読み出すことを特徴とする。

請求項3に記載の発明は、請求項1または請求項2に記載の発明において、前記報知手段は、映像情報を表示する表示領域にメッセージを表示する表示制御手段を含むことを特徴とする。

請求項4に記載の発明は、複数の地域情報を記憶する記憶手段を備え、デジタル放送信号を受信することによりこの放送信号に対応する映像情報を表示するデジタル放送受信装置における報知制御方法であって、デジタル放送信号に多重化されて送信される複数の地域コードを受信する受信ステップと、この受信ステップにて受信された複数の地域コードの夫々について、対応する地域情報が前記記憶手段に記憶されているか否かを判定する判定ステップと、この判定ステップにて前記記憶手段に対応する地域情報が記憶されていると判定した場合、該記憶手段より地域情報としてその地域を示す名称を読み出す読出ステップと、この読出ステップにて読み出された地域を示す名称を含む所定のメッセージを生成して出力報知する報知ステップとからなることを特徴とする。

請求項5に記載の発明は、デジタル放送信号を受信する放送受信部と、複数の地域情報と地域コードとを対応付けて複数記憶するメモリとを備えたコンピュータを、前記放送受信部により受信されたデジタル放送信号より、このデジタル放送信号に多重化されて送信される複数の地域コードを抽出する抽出手段、この抽出手段によって抽出された複数の地域コードの夫々について、対応する地域情報が前記メモリに記憶されているか否かを判定する判定手段、この判定手段によって前記メモリに対応する地域情報が記憶されていると判定した場合、前記メモリより地域情報としてその地域を示す名称を読み出す読出手段、この読出手段によって読み出された地域を示す名称を含む所定のメッセージを生成し、出力報知する報知手段として機能させることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明では、デジタル放送信号に多重化されて送信される複数の地域コードの夫々について、対応する地域情報が記憶手段に記憶されている場合に、該記憶手段より地域情報としてその地域を示す名称が読み出され、そして、この名称を含む所定のメッセージが生成され、出力報知されるので、放送サービスの対象地域を視聴者に明示的に告知でき、たとえば、現在受信中の放送がどの地域のものなのかを視聴者に告知することができる。した

がって、異なる地域コードが付与された複数の地域特定放送サービスを選択的に受信する際に、その放送サービスの対象地域を視聴者に明示的に告知できる。